科目名	農業経営論Ｂ　　Agro-Management B						
科目担当者	三田井 研一　　MITAI Ken'ichi						
単位数	２	配当年次	３年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)(3)(4)
授業の概要	グローバル化する世界経済の中での世界の農業と日本農業の方向性を議論するとともに、日本農業の中での宮崎農業の優位性を探り、農業経営の改善・改革に向けた実践事例から改革方策を学ぶとともに、オランダ農業等の海外の先進事例の農業改革から総合的な農業経営の課題の可視化と必要な改善策並びに方向性を探る。						
授業の到達目標	①世界の農業と日本農業、そして宮崎農業の現状を正確に認識する。 ②農業経営における先進的実践事例から経営改善の着眼点を学ぶ。 ③宮崎農業の課題とその改善・進化の方向性の仮説を構築。						

授業計画・内容		
	1	食料安全保障と世界の農業
	2	グローバル化と WTO・FTA・TPP
	3	海外の農業（中国・アメリカ）
	4	海外の農業（オーストラリア・ブラジル）
	5	海外の農業（オランダ・EU）
	6	海外の農業（アジア諸国）
	7	EU 共通農業政策
	8	オランダ農業の講演　WAGENINGEN UNIVERSITY
	9	宮崎県農業の構造と県農業長期振興計画
	10	宮崎方式営農支援体制と農業経営分析
	11	宮崎県農業経営の実践リーダーの講演
	12	日本農業の先進事例（映像授業）
	13	地域に根ざした大規模農業経営の講演
	14	仮説議論（私が考察する農業経営改善策）
	15	食料・農業・農村と地域経済

授業外学修 (事前学修)	教科書の対象範囲の予習、専門用語の把握（毎週２時間程度）
授業外学修 (事後学修)	授業内容の要点整理、不明な箇所の調査と理解（毎週２時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験（期末試験） 受講態度（不定期レポート、聞く姿勢などを重視）	７０％ ３０％	①, ② ③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	農業経営概論（２０１６）、大泉一貫・津谷好人他、実教出版
参考文献	
その他	毎講義１０分以上の遅刻は成績評価に影響する。履修生には積極的かつ熱心な聴講態度が求められる。受講態度が悪い場合（私語をする、スマホをいじる、居眠りをする等）は、指摘をせず、平常点から減点とする。